

～人々の触れ合いの場を目指して～

『納所交流センター』オープン1周年

昨年4月、地域のみなさんが交流できる場所を目指して誕生した納所交流センター。

これまでの歩みと、現在の取り組みをご紹介します。

01 成り立ち



**地元のみなさんが
喜んで集まってくれるのが
何よりです**

「旧納所小学校は地域の住民が集う場でもありました。運動会は校区民運動会だったので、住民総出でした。学校という、住民同士の触れ合いの場がなくなるのは寂しいことだと思っていました」と話すのは納所里づくり委員会副会長の松田さん。

話し合いを重ね、学校跡地をみんなが集う「交流センター」にしようといふことが決まりました。2013年12月に今までの旧納所小校区跡地跡施設活用検討委員会を「納所里づくり委員会」と改め、活用について具体的な検討が進められました。

改築工事を経て、昨年4月に新たに交流の拠点として納所交流センターがオープンしました。

センターでは英語教室や手芸教室、そば打ち体験などが開催され、ビワの郷でお菓子や日用品の販売がされ、子

どもや高齢者で賑わっています。またスクールバスの発着場であることから、放課後の子どもたちの遊び場としても活用されています。

委員会では、多くの人に交流センターを使用してもらいたいと、いろいろなイベントを企画。4月12日に開催した、オープン1周年イベントには110人ほどが集まり、楽しい触れ合いの時を過ごしました。

また、納所の豊かな自然環境の中での、流しそうめんや、ピザ窯などの体験は県外の人からも人気です。

鶴野さんは「地域のみなさんの施設なので、広い建物を生かし、いろいろ企画して使っていただきたいです。気軽におしゃべりしをしに来てください」と話されます。

交流センターのよさを生かしながら更なる活用を目指します。



まつだ としはる
松田 俊治さん
納所里づくり委員会副会長

**見つけていきたいですね
起爆剤になるものを
試行錯誤を重ね、**



なごの まさひこ
鶴野 正彦さん
納所里づくり委員会役員

